

2013年3月期 決算説明資料



KANEMATSU CORPORATION

2013年5月15日

本説明会・資料における当社グループの今後の計画・見通し・戦略等、将来に関する記載は、当社が現時点において把握可能な情報をもとに判断したものであり、これらは様々なリスクや不確実性が内在しております。

従って、経営環境の変化、未知のリスクの顕在化、およびその他様々な要因により、実際の業績等の結果は大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

なお、表示の数値は、億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

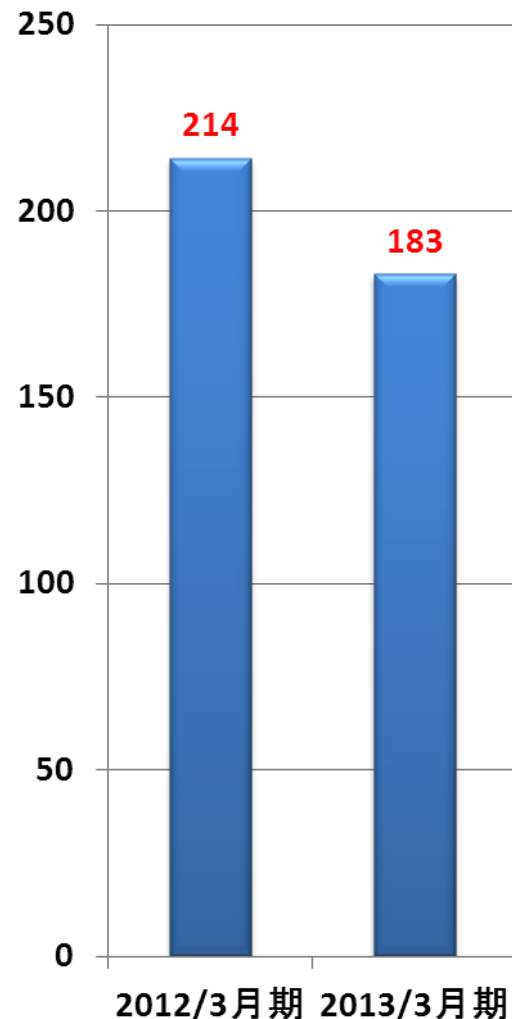
1.	2013年3月期 決算説明	...	3
2.	“S-Project” レビュー	...	14
3.	中期経営計画 ～未来へ繋ぐ、新たなステージへの飛躍～	...	18
4.	Appendix	...	38

1

2013年3月期 決算説明

2013年3月期 決算概要(P/L)

営業利益: 億円

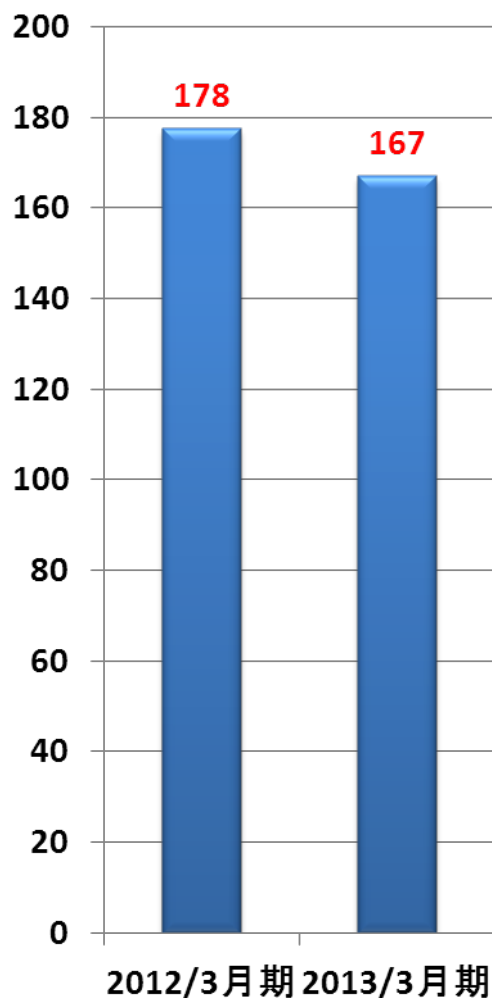


(億円)	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率
売上高	10,064	10,192	129	1%
売上総利益	809	800	-9	-1%
販管費	595	618	23	4%
うち、人件費	318	335	17	5%
うち、物件費他	277	283	6	2%
営業利益	214	183	-32	-15%

- 売上高、売上総利益は前期比ほぼ横ばい。
- 事業拡大の為、先行投資として販管費及び一般管理費増加の結果、営業減益。

2013年3月期 決算概要(P/L)

経常利益: 億円



(億円)	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率
営業外収支	-37	-16	21	-
金融収支	-28	-22	6	-
うち、受取配当金	8	8	0	-
うち、受取利息	5	5	0	-
うち、支払利息	-41	-35	6	-
持分法損益	3	2	-1	-
為替差損益	-6	9	15	-
その他営業外収支	-5	-5	0	-
経常利益	178	167	-10	-6%

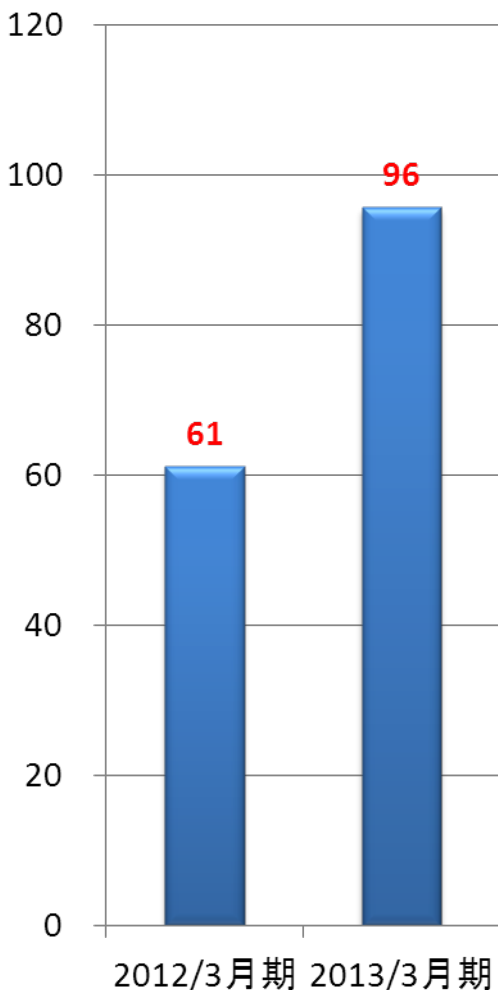
基礎的収益力(※)	190	165	-25	-13%
------------------	------------	------------	-----	------

(※) 基礎的収益力 = 営業利益 + 貸倒引当金繰入額 + 受取配当金 + 金利収支 + 持分法損益

■ 為替差損益および利息収支の改善により、営業外収支は良化。

2013年3月期 決算概要(P/L)

当期純利益: 億円



(億円)	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率
特別損益	-42	1	43	-
うち、特別利益	3	33	30	-
うち、特別損失	-45	-32	13	-
税引前利益	135	168	33	24%
法人税等	-60	-56	4	-
少数株主利益	-14	-16	-2	-
当期純利益	61	96	35	57%

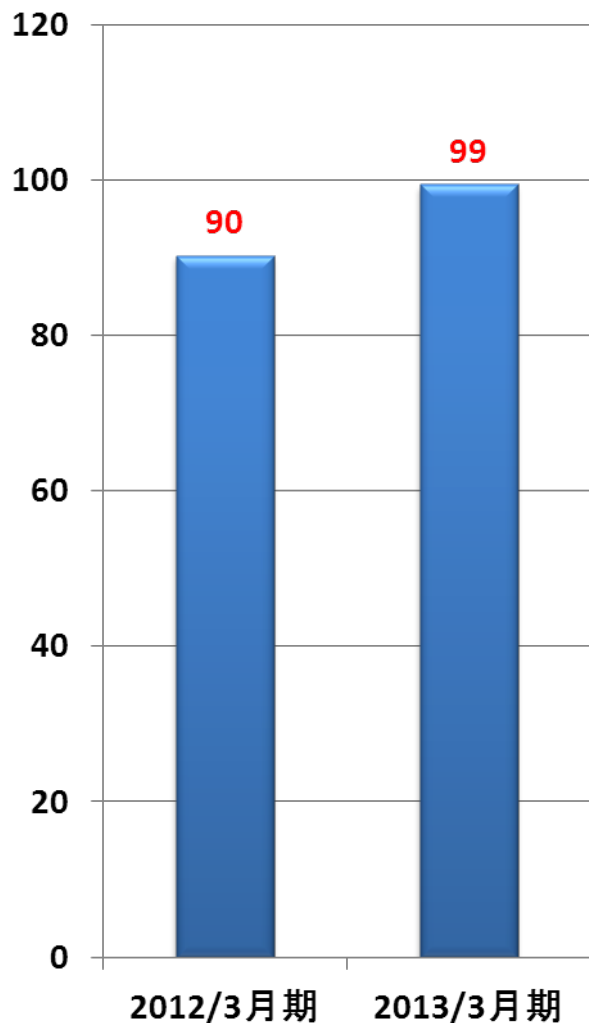
- 特別損益は、固定資産処分損などの特別損失計上
の一方、投資有価証券売却益など特別利益計上により、
ネットで1億円の利益。当期純利益は増益。



2013年3月期 決算概要(セグメント別実績)

(億円)	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率
売上高 (外部売上高)	10,064	10,192	129	1%
電子	2,531	2,737	205	8%
食品・食糧	2,921	2,879	-42	-1%
鉄鋼	991	913	-78	-8%
機械・プラント	704	554	-150	-21%
環境・素材	2,737	2,935	199	7%
その他	179	174	-5	-3%
営業利益	214	183	-32	15%
電子	90	99	9	10%
食品・食糧	52	32	-20	-40%
鉄鋼	36	26	-10	-29%
機械・プラント	14	4	-10	-71%
環境・素材	20	19	-0	-2%
その他(含む調整額)	2	2	0	39%

営業利益：億円



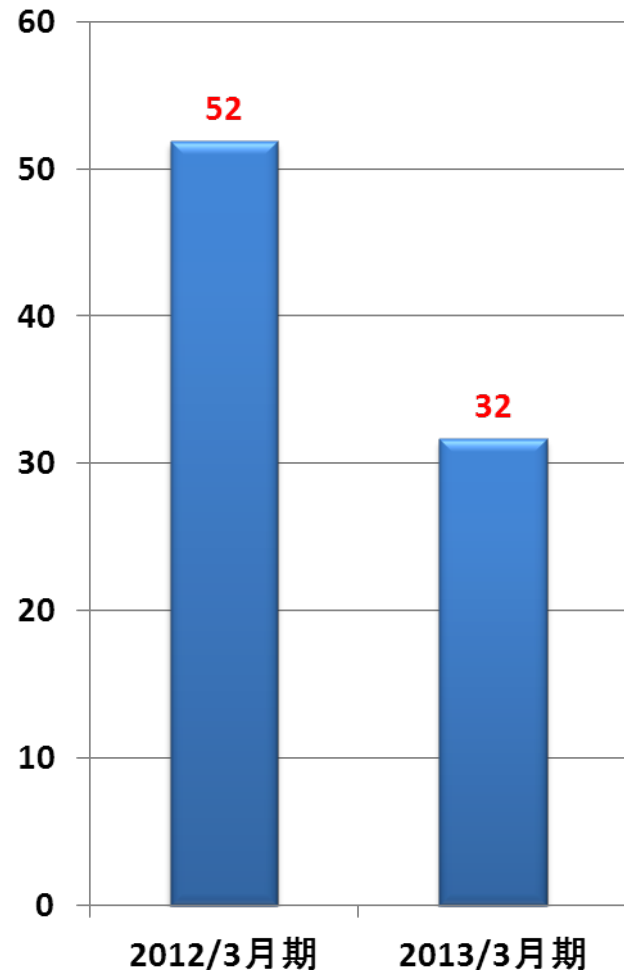
(億円)	2012/3 通期実績	2013/3 通期実績	増減額	増減率
売上高	2,531	2,737	205	8%
売上総利益	413	438	25	6%
営業利益	90	99	9	10%

2013年3月期実績のポイント

- モバイル端末やクラウドサービスの拡販等によりICT・モバイルソリューション事業は、好調に推移。
- 米国の景気回復もあり、車載向け電子機器事業も堅調に推移。
- 半導体部品・製造装置関連はスマートデバイス需要を除き、全般的に低迷。

2013年3月期 通期実績(食品・食糧)

営業利益：億円

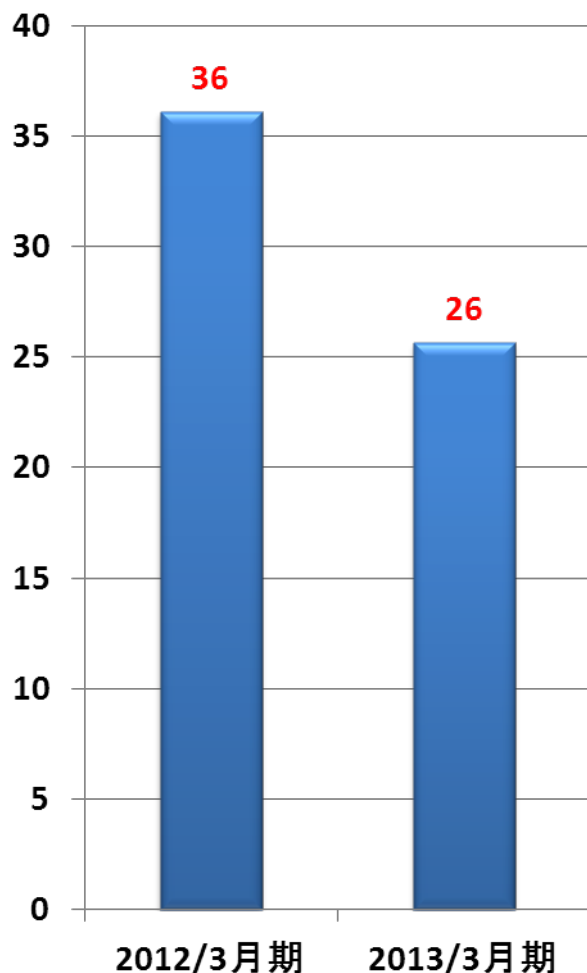


(億円)	2012/3 通期実績	2013/3 通期実績	増減額	増減率
売上高	2,921	2,879	-42	-1%
売上総利益	137	121	-16	-12%
営業利益	52	32	-20	-39%

2013年3月期実績のポイント

- 食品、畜産、食糧事業は全般的に低調に推移。
- 畜産事業は輸入牛肉の月齢緩和に伴う市況の混乱等により低調に推移。
- 食糧事業は市況が高騰した一方、飼料を中心に販売価格への転嫁が進まず苦戦。

営業利益：億円



(億円)	2012/3 通期実績	2013/3 通期実績	増減額	増減率
売上高	991	913	-78	-8%
売上総利益	74	70	-4	-5%
営業利益	36	26	-10	-29%

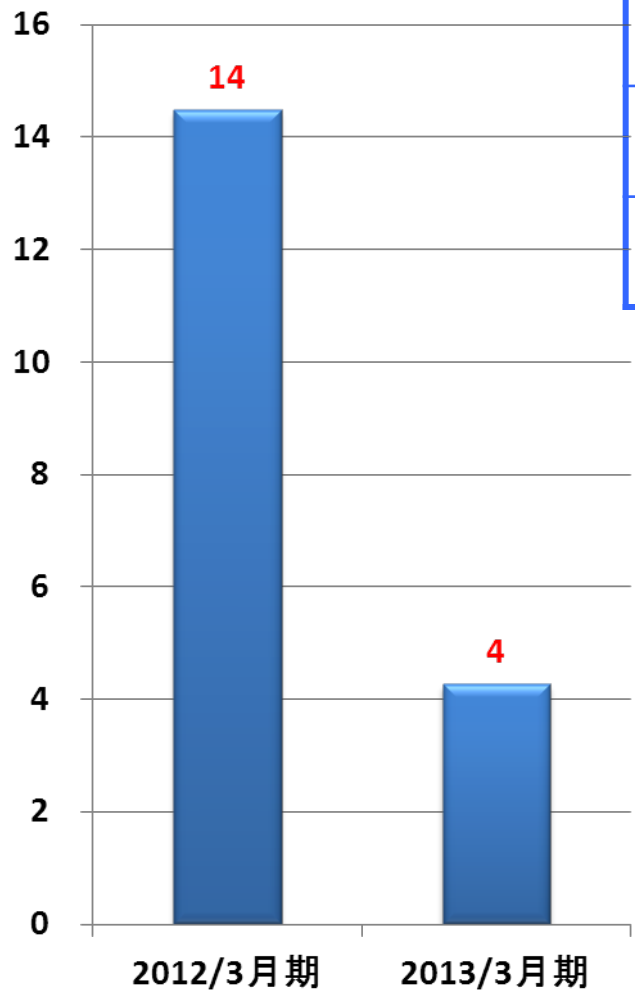
2013年3月期実績のポイント

- 北米向け鋼管取引は堅調に推移。
- アジア向け鋼板および鉄鉱石の出荷が低迷。



2013年3月期 通期実績(機械・プラント)

営業利益: 億円



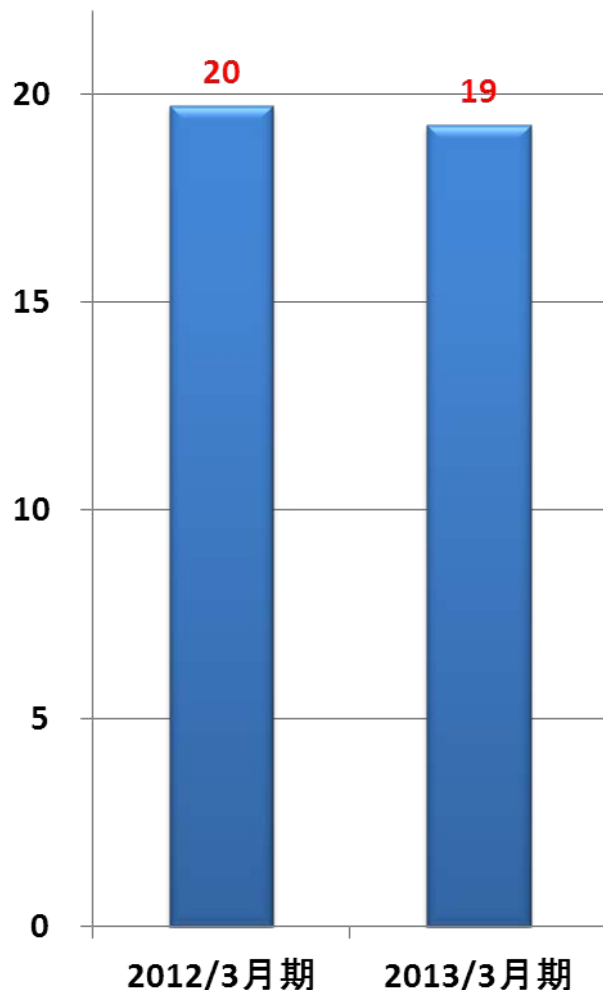
(億円)	2012/3 通期実績	2013/3 通期実績	増減額	増減率
売上高	704	554	-150	-21%
売上総利益	70	62	-8	-11%
営業利益	14	4	-10	-71%

2013年3月期実績のポイント

- 工作機械・産業機械の販売は、取引先の設備投資・更新需要を取込み順調に推移。
- 輸送機関連およびプラント関連取引が、アジア向け輸出中心に低調に推移。

2013年3月期 通期実績(環境・素材)

営業利益：億円



(億円)	2012/3 通期実績	2013/3 通期実績	増減額	増減率
売上高	2,737	2,935	199	7%
売上総利益	92	85	-7	-7%
営業利益	20	19	0	-2%

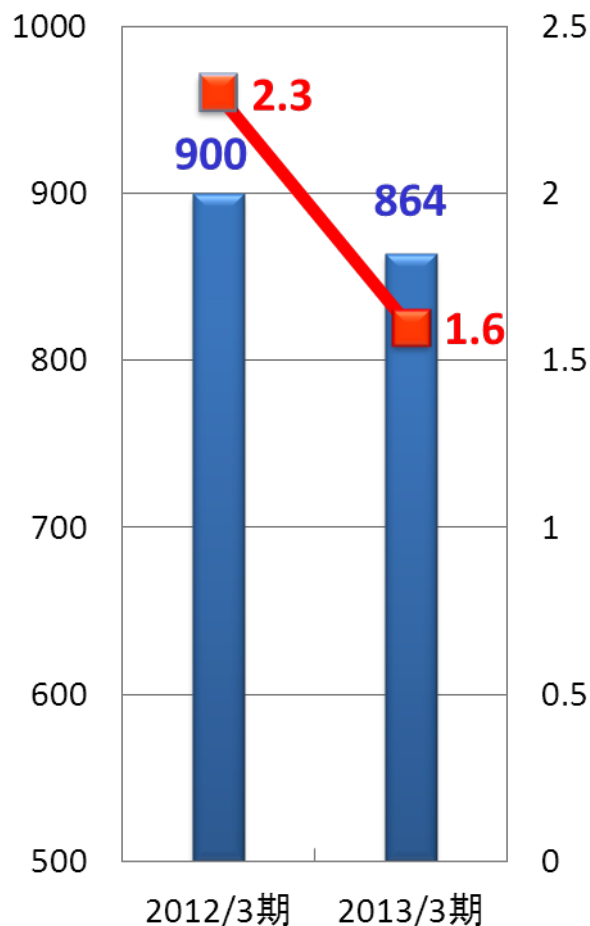
2013年3月期実績のポイント

- エネルギー事業は、引き続き電力会社向け重油販売が好調に推移。
- 化学品事業は、医薬品原料・健康食品の輸入取引が堅調に推移する一方、車載用電池原料の輸出取引が低調に推移。

財務体質は大幅に改善

ネット有利子負債: 億円

ネットDER: 倍



(億円)	2012年 3月末	2013年 3月末	増減額	増減率
総資産	3,998	3,992	-6	0%
純資産	560	759	199	36%
自己資本(注1)	390	545	155	40%
自己資本比率(注2)	9.8%	13.7%		3.9pt改善
グロス有利子負債	1,608	1,469	-140	-9%
ネット有利子負債	900	864	-36	-4%
ネットDER(注3)	2.3倍	1.6倍		0.7pt改善

注1: 自己資本=純資産-少数株主持分、注2: 自己資本比率=自己資本/総資産

注3: ネットDER=ネット有利子負債/自己資本

■ 借入金返済により、有利子負債は減少。

当期純利益による利益剰余金積み上げにより自己資本が増加。

結果、自己資本比率、ネットDERとも大幅改善。

2

“S-Project” レビュー
(2010年4月～2013年3月)

“S-Project” 実績レビュー:業績

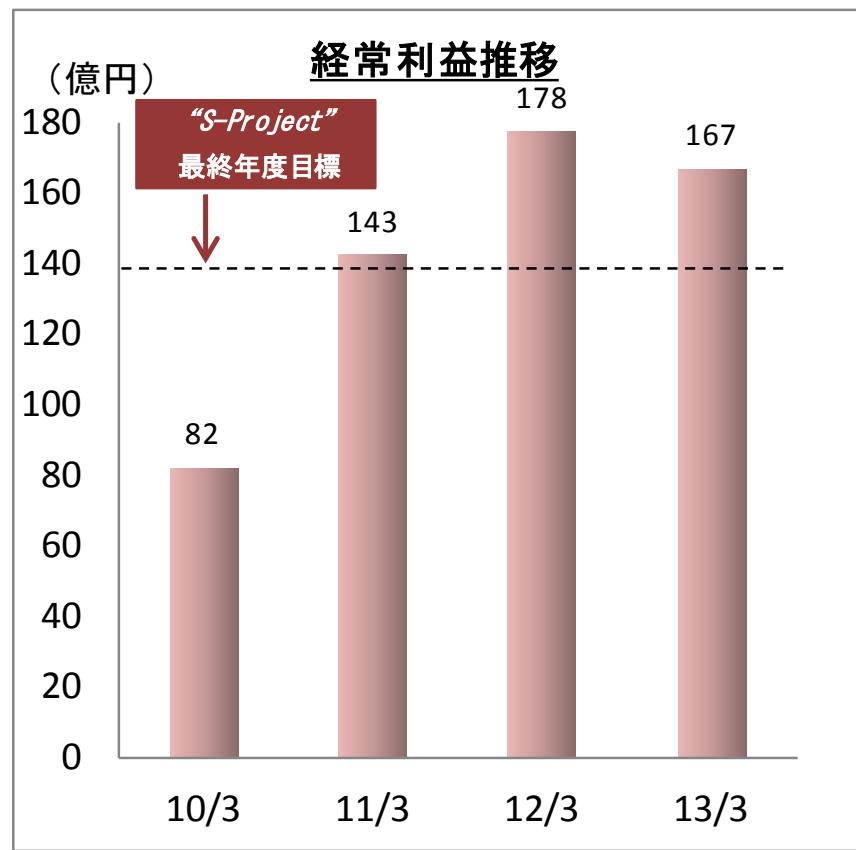
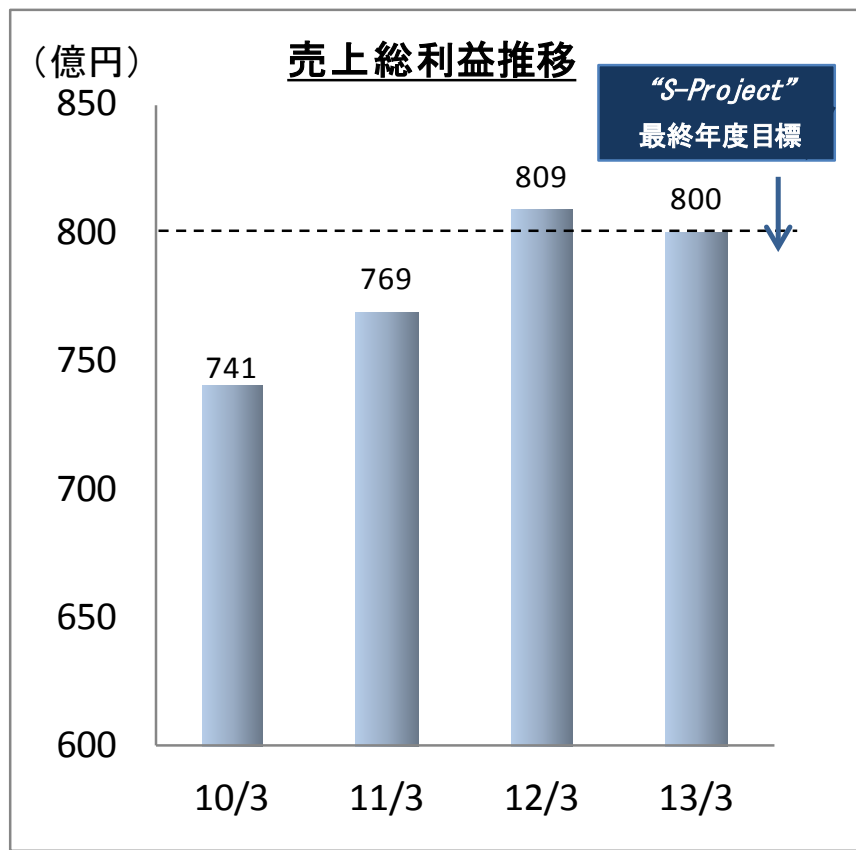
当初目標

- 連結売上総利益 800億円
- 連結経常利益 140億円



実績

- 連結売上総利益 800億円
- 連結経常利益 167億円



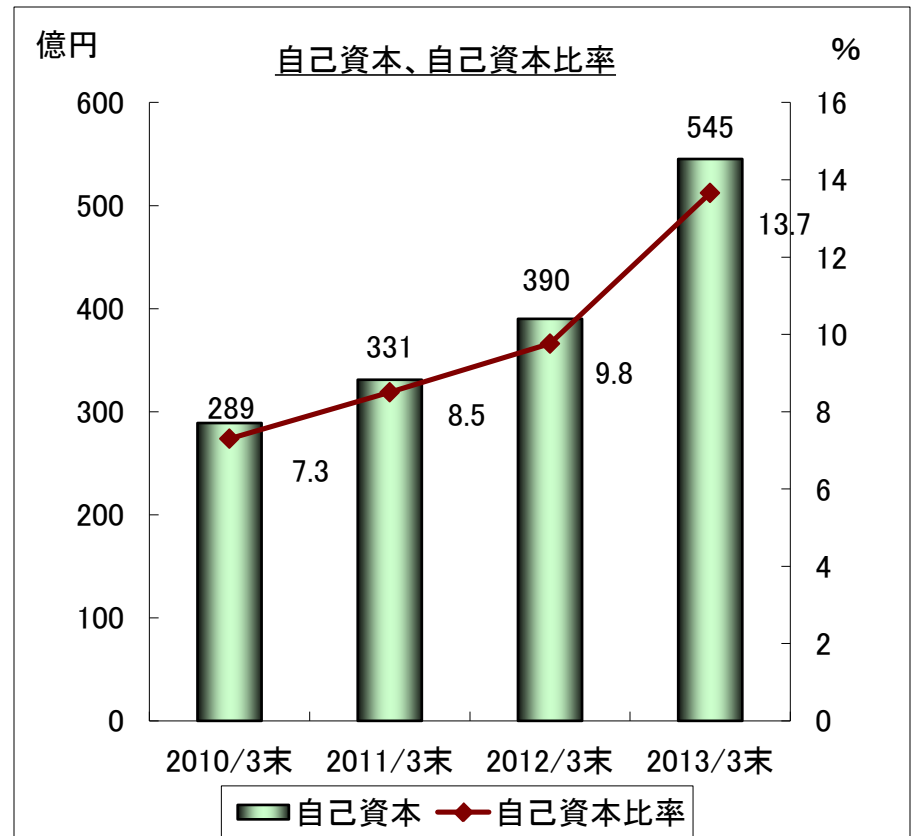
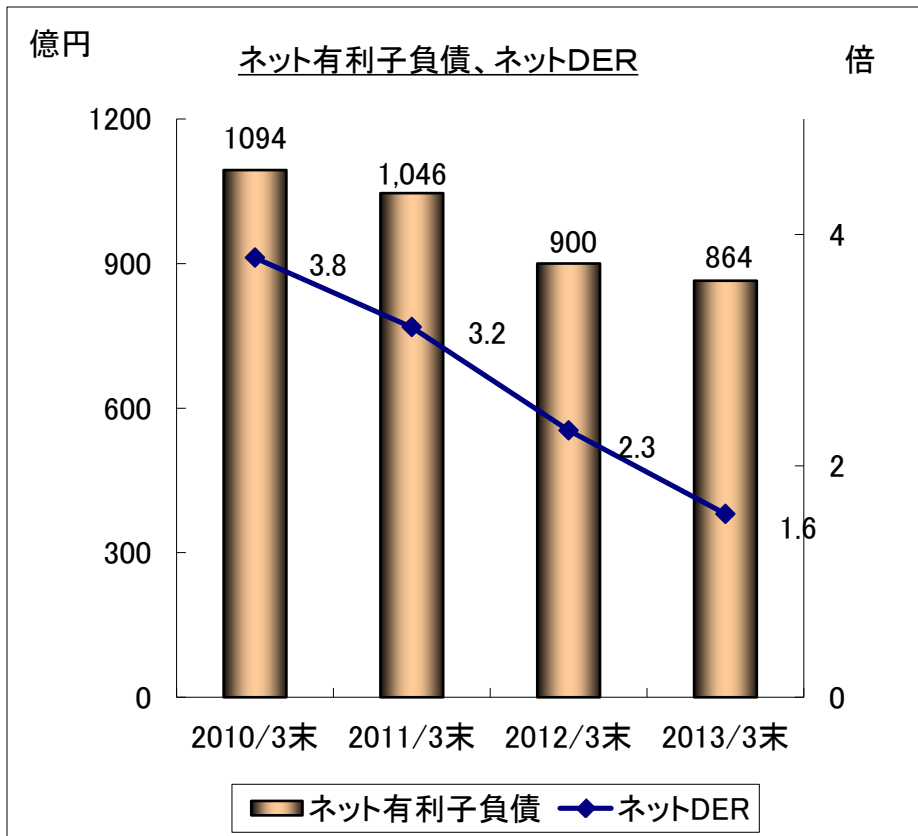
当初目標

- ネット有利子負債 840億円
- 自己資本比率 10%超
- ネットDER 2.0倍程度



実績

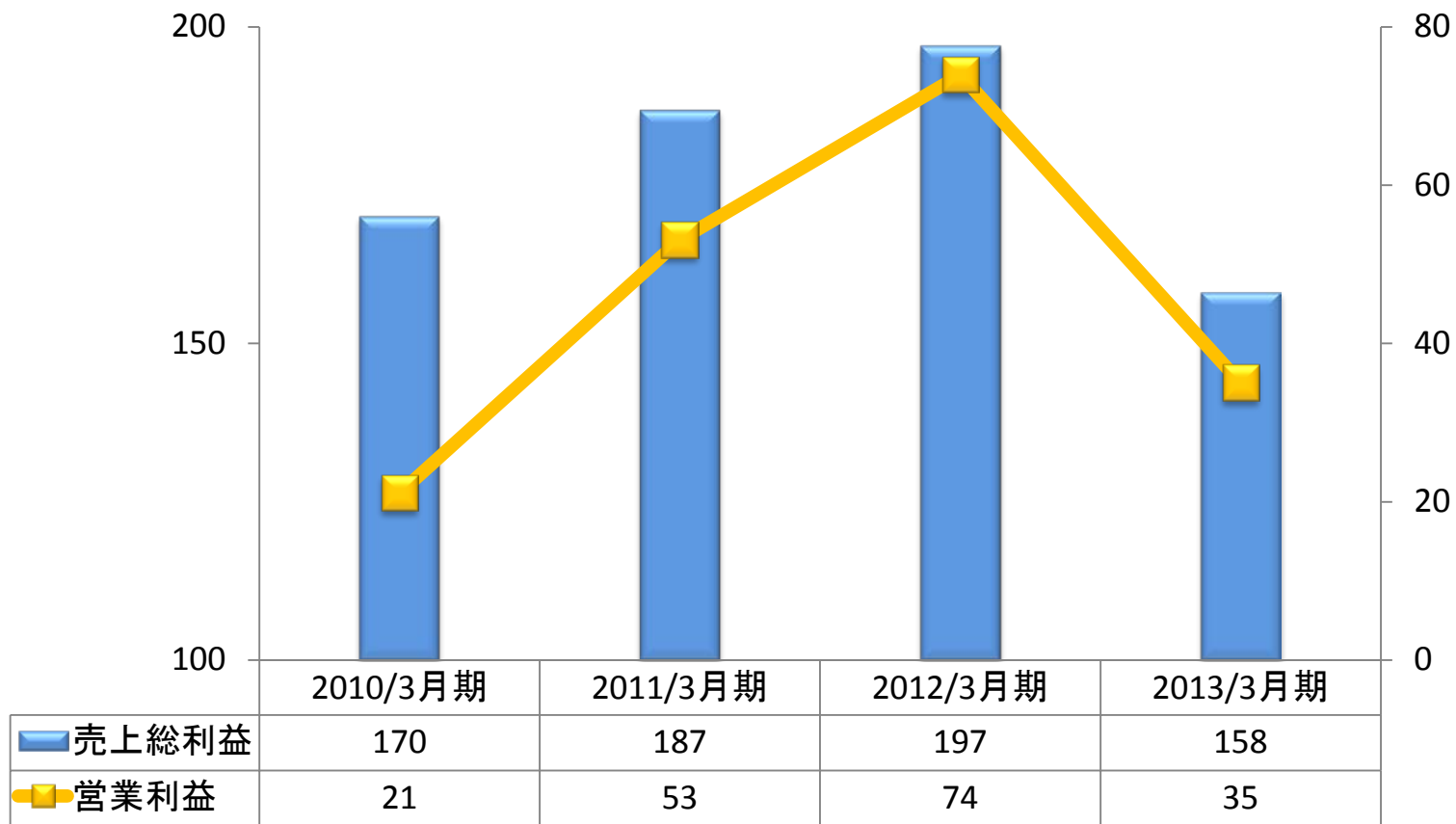
- ネット有利子負債 864億円
- 自己資本比率 13.7%
- ネットDER 1.6倍



復配は見送り

(ご参考) 億円

単体業績推移



中期経営計画

～未来へ繋ぐ、新たなステージへの飛躍～
(2013年4月～2016年3月)

中期経営計画 ～未来へ繋ぐ、新たなステージへの飛躍～

基本方針

- 創業125周年を迎え更なる未来へ飛躍すべく、攻めの経営で、揺るぎない成長路線を確立する。
- 事業創造集団としてのプロフェッショナルな組織・人材を一層強化し、お取引先との共生・発展を図る。
- 内外のステークホルダーの期待に応えるべく、継続的な企業価値の向上を目指す。

重点施策

- (1) 時代のニーズを先取りするグローバルバリューチェーンの強化
- (2) グループ力の結集と相互連携、資源の有効配分による連結収益力の向上
- (3) 経済環境に左右されない盤石な財務基盤の構築
- (4) グローバルなプロフェッショナルの育成
- (5) 復配と継続的配当の実現

注力分野

① 食料分野のグローバル展開

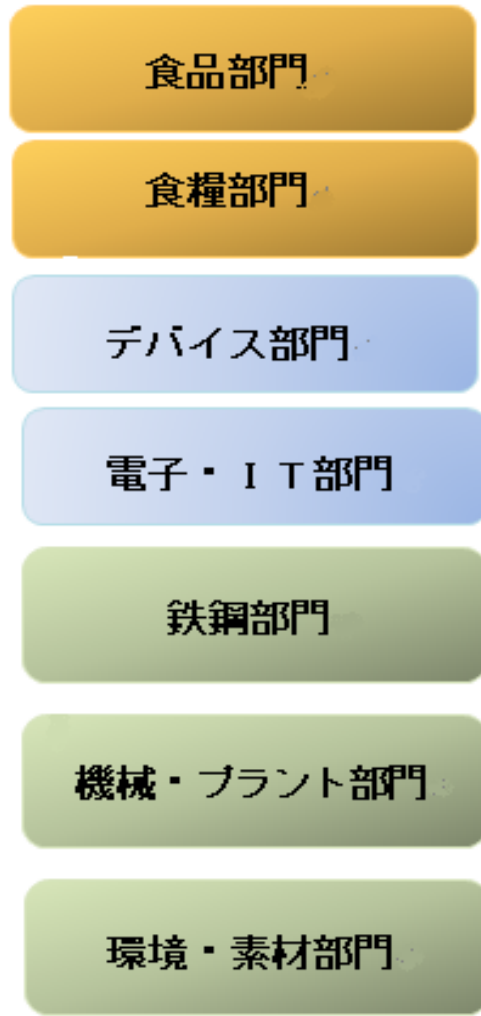
② 電子・デバイス・ICT分野の拡大

③ 車載・機構部品分野の強化

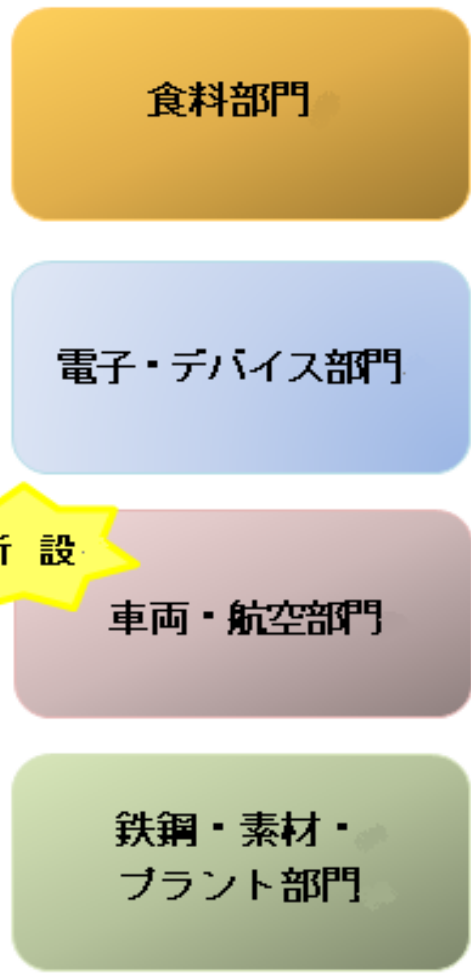
④ エネルギー・素材・インフラ分野の新規開拓

組織

再編前



再編後



定量目標（2016年3月期）

- 連結経常利益 200億円
- 連結当期純利益 100億円
- ネットDER 1倍台維持

3カ年推移イメージ

<収益>

(単位:億円)

	2013年3月期	新中期経営計画			2013年3月期比	
		2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	増減	増減率
売上高	10,192	10,500	11,000	11,500	1,308	12.8%
売上総利益	800	840	880	920	120	15.0%
営業利益	183	190	205	220	37	20.5%
経常利益	167	170	190	200	33	19.7%
当期純利益	96	60	80	100	4	4.6%

<財務指標>

(単位:億円)

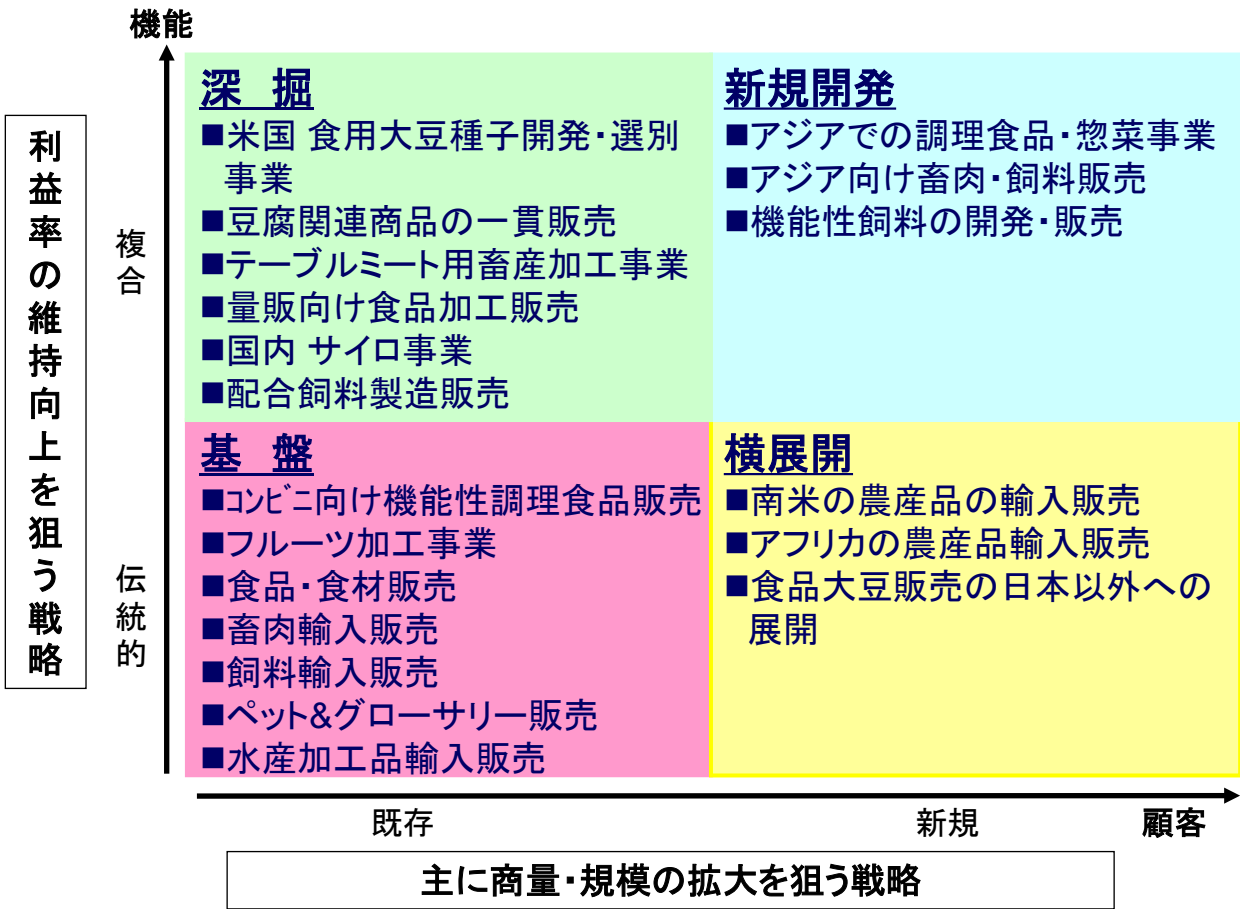
	2013年3月末	新中期経営計画			2013年3月末比	
		2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末	増減	増減率
総資産	3,992	4,190	4,270	4,440	448	11.2%
自己資本	545	603	670	749	204	37.4%
自己資本比率(%)	13.7	14.4	15.7	16.9	3.2pt改善	—
グロス有利子負債	1,469	1,469	1,469	1,469	0	0.0%
グロスDER(倍)	2.7	2.4	2.2	2.0	0.7pt改善	—
ネット有利子負債	864	810	760	710	△154	-17.9%
ネットDER(倍)	1.6	1.3	1.1	1.0	0.6pt改善	—

各セグメント施策

戦略

- ☆ 「安心・安全・安定」をテーマに、原料の調達・加工・出荷までの強固なバリューチェーンの構築、及びトレーサビリティ管理の徹底
- ☆ 食生活水準の向上が見込まれるアジアエリアへの事業投資加速
- ☆ 変化するグローバルマーケットニーズに対応すべく、原料産地の多角化と有力サプライソースを確保、多国間取引ボリュームの拡充推進

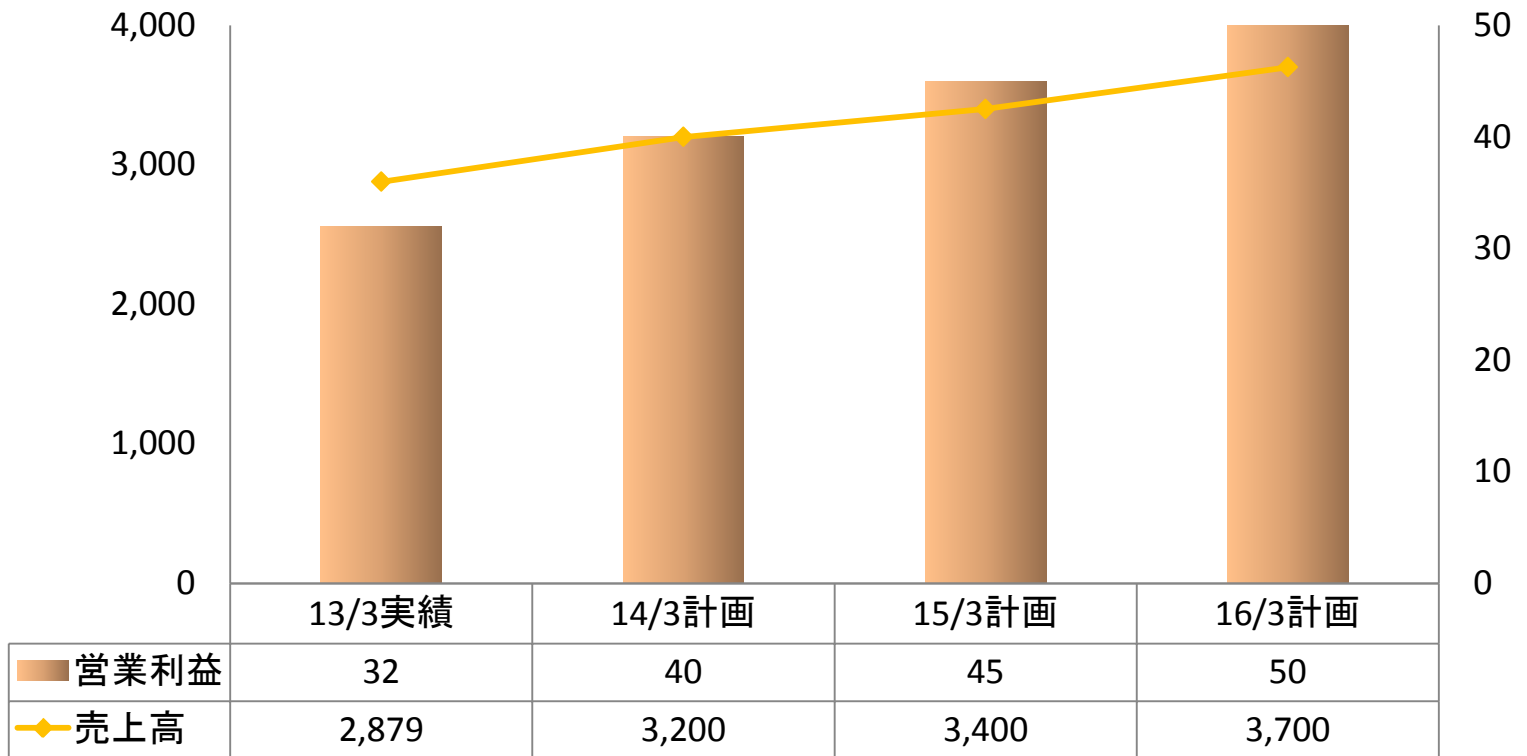
4つの事業類型



目標

売上高・営業利益

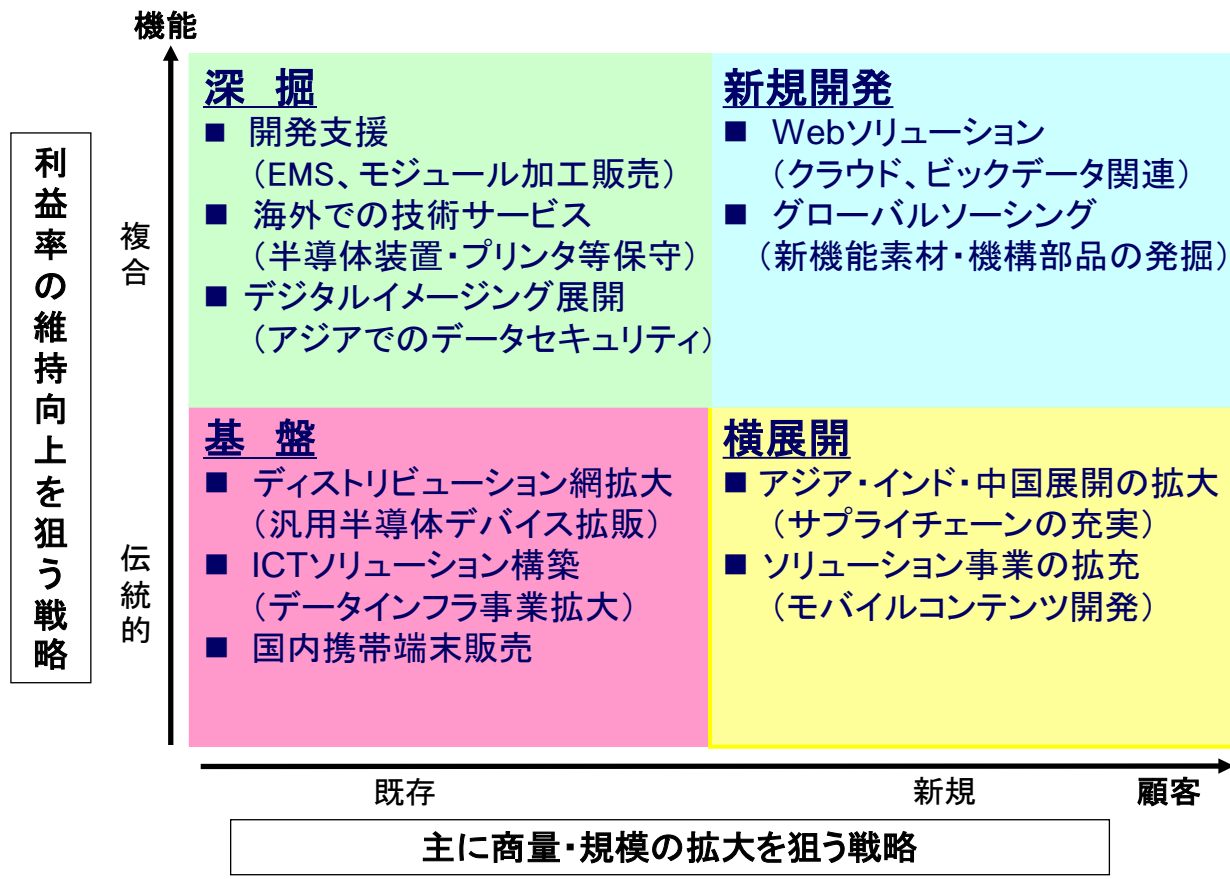
(億円)



戦略

- ☆ システムインテグレーションビジネスのグローバル展開
- ☆ モバイル・携帯販売事業の拡大と市場シェアの向上
- ☆ デバイスビジネスにおける、グローバルベースの一貫体制(調達・加工・販売)構築
- ☆ アジア・欧米先端企業への開発段階からの取組を強化

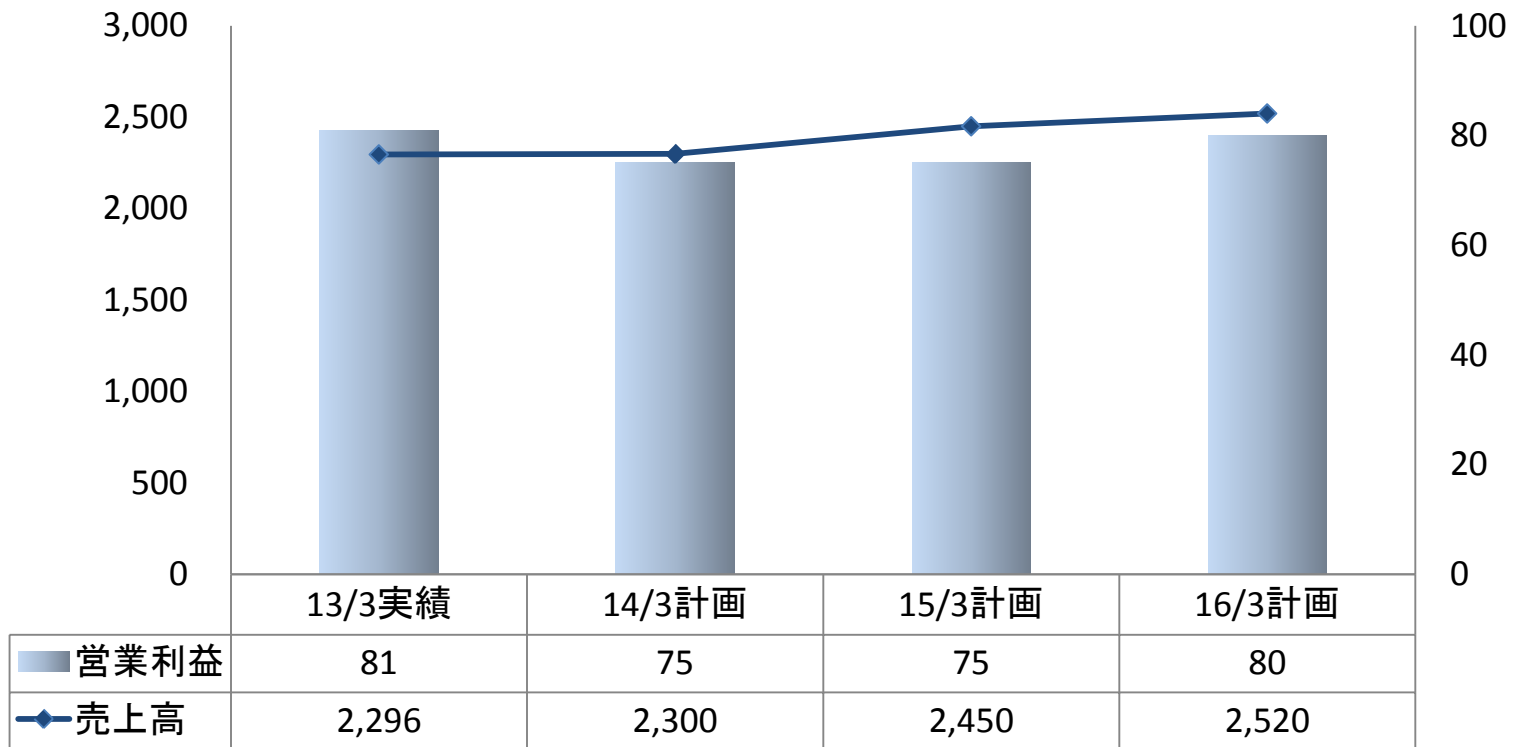
4つの事業類型



目標

(億円)

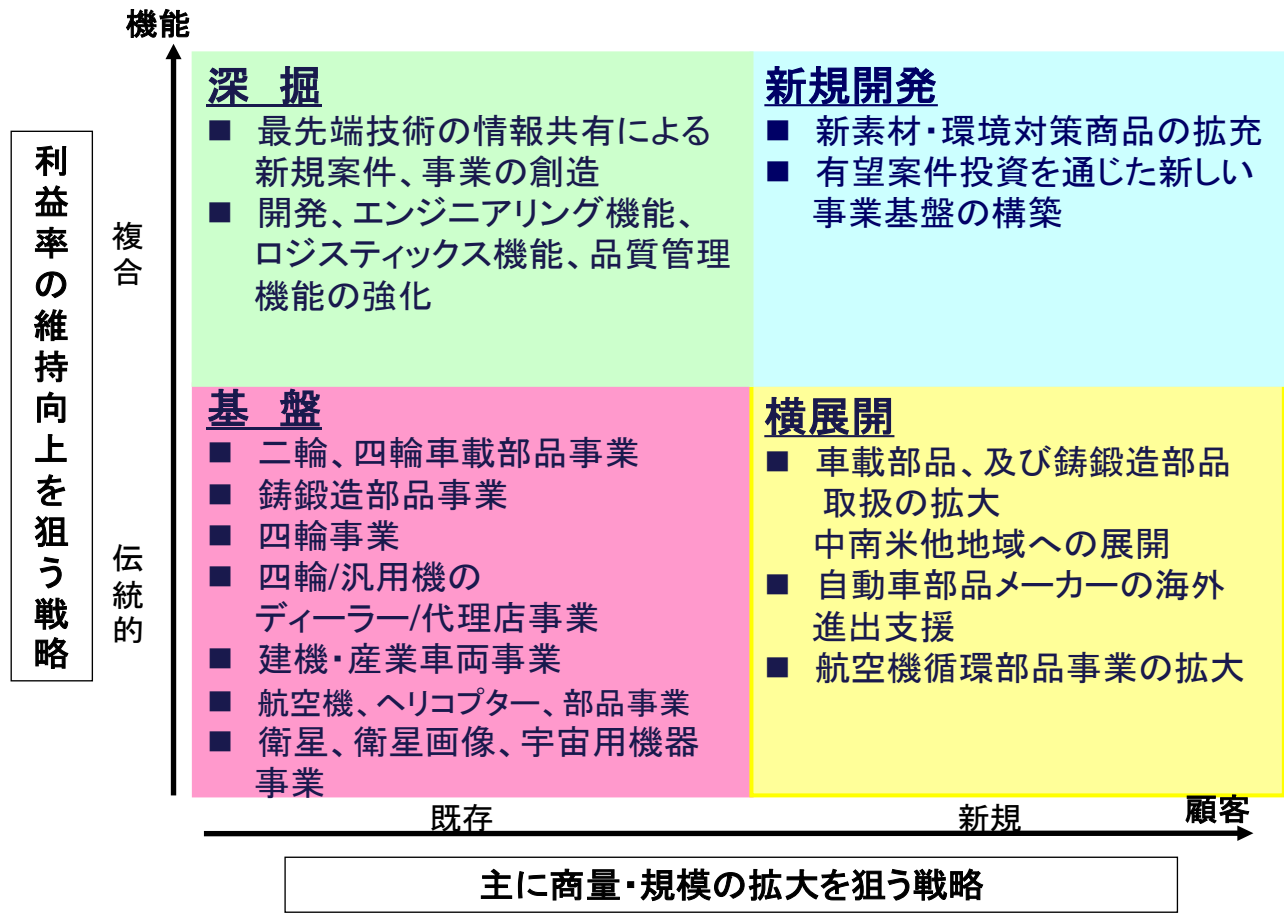
売上高・営業利益



戦略

- ☆ 更なる成長と多極化が進む世界の二輪車・四輪車市場におけるグローバルなサプライチェーンを構築
- ☆ 航空宇宙分野から自動車分野へ波及する最先端技術情報の共有による新規ビジネスの創出
- ☆ 航空機、ヘリコプター、衛星、同搭載品・部品、及び航空機循環部品事業の拡大

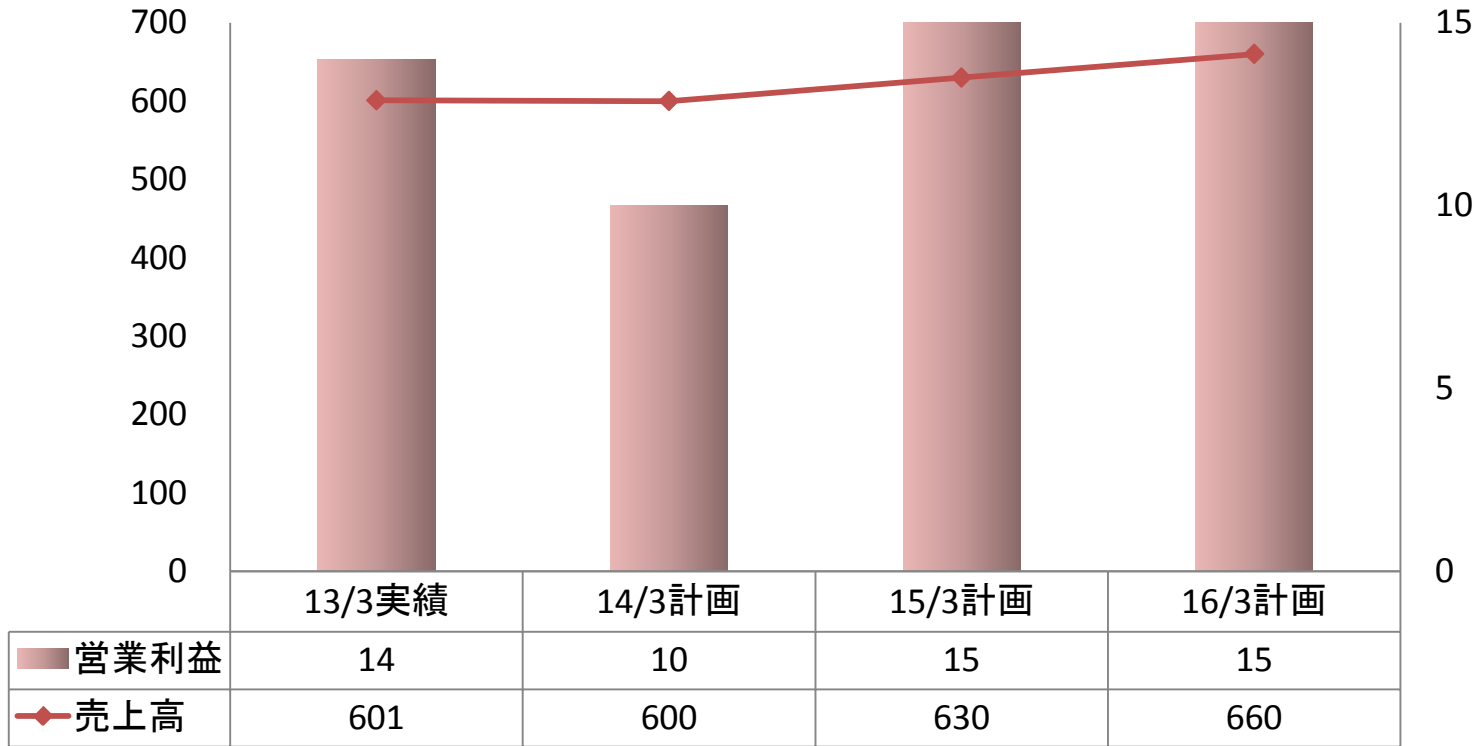
4つの事業類型



目標

(億円)

売上高・営業利益



戦略

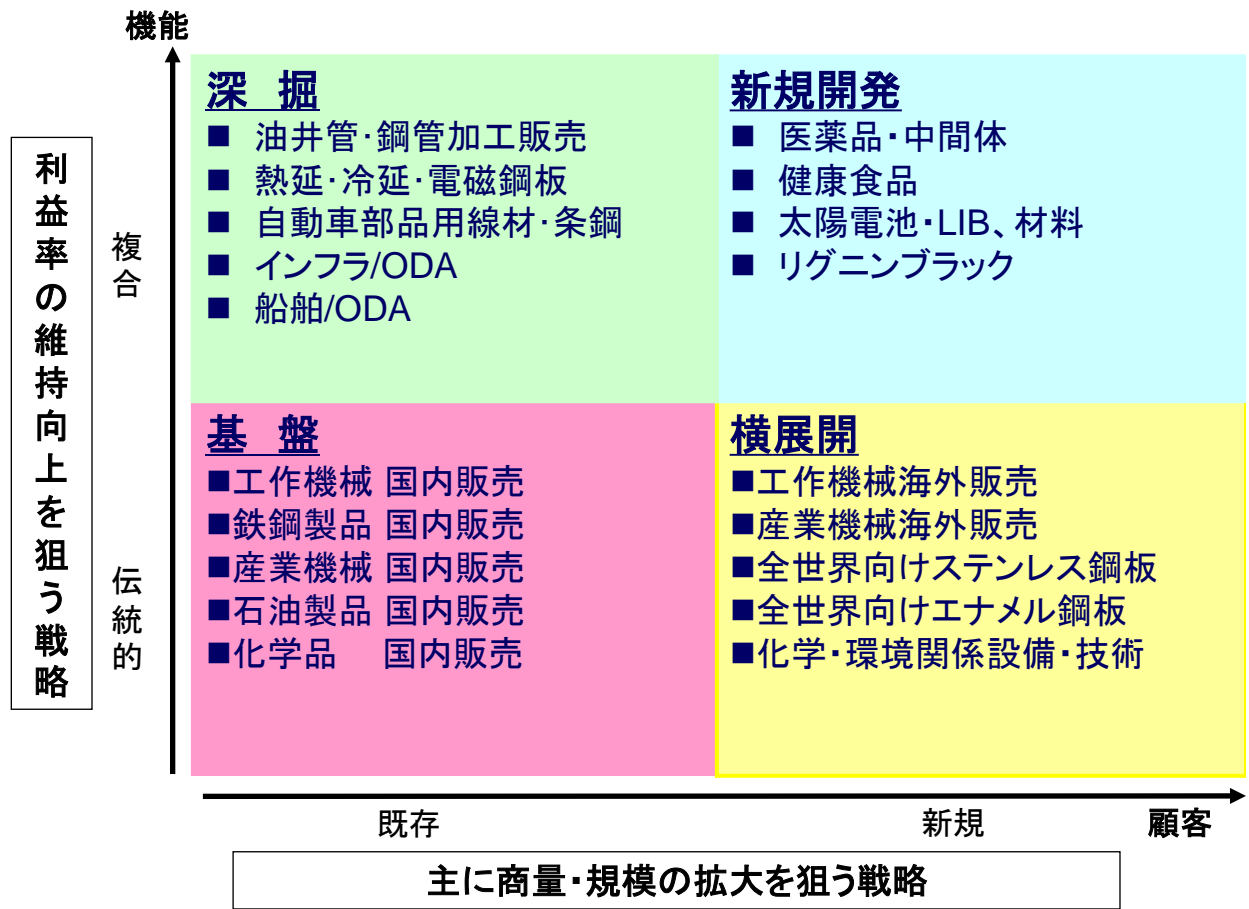
☆ 鉄鋼分野での北米及び東南アジアマーケットにおける展開強化

☆ 新エネルギー、新素材分野における新規開発

☆ 工作機械、産業機械、プラント分野での新興国市場開拓

☆ 素材・原料、製品間の協業体制強化とシナジーの追求

4つの事業類型



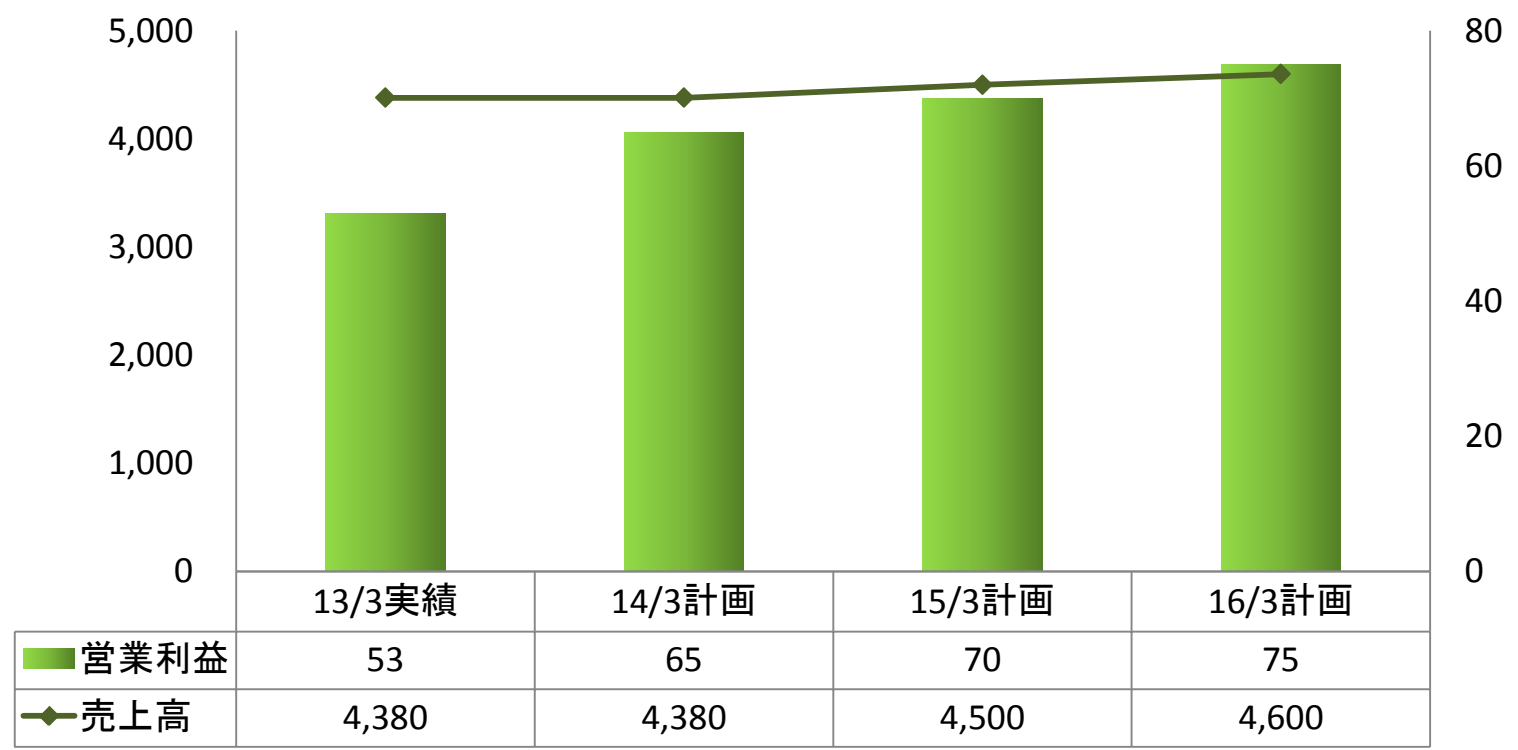


鉄鋼・素材・プラント

目標

売上高・営業利益

(億円)





4

Appendix

事業セグメント	主要な事業	主要取扱商品	主要グループ会社
電子・デバイス	半導体部品・装置	半導体・電子部品、電子モジュール・部材、半導体・液晶装置	兼松エレクトロニクス 兼松コミュニケーションズ 日本オフィス・システム
	機構部品	プリンタ関連機器、電子モジュール	
	ICT・モバイル	システムソリューション、通信機器・部品 携帯通信端末、モバイルコンテンツ、モバイル広告	
食料	食品	缶詰・冷凍・ドライフルーツ、果汁、ワイン、コーヒー、ココア、砂糖、胡麻、落花生、雑豆、蜂産品、ナッツ、種実類、油脂、乳製品、加工食品	兼松新東亜食品 兼松アグリテック 兼松ソイテック
	畜水産	畜産物、水産物	
	穀物・飼肥料・ペット用製品	小麦、大麦、米、大豆、加工食品、飼料、肥料、ペットフード、ペット用品	
鉄鋼・素材 ・プラント	鉄鋼貿易	各種処理鋼板、シームレスパイプ	SSOT 兼松トレーディング 兼松ペトロ 兼松ケミカル 兼松ウェルネス 兼松ケージーケイ
	特殊鋼貿易	ステンレス、特殊鋼線材・条鋼	
	国内鉄鋼・鉄鋼原料	鉄鋼製品全般、鉄鉱石、コークス	
	原油・石油製品・ガス	原油、石油製品、LPG、排出権取引	
	機能性化学品、ライフサイエンス	リチウム電池原料、太陽電池関連部材、石油化学製品、医薬品、医薬中間体、機能性食品素材、栄養補助食品	
	プラント・船舶	各種プラント、通信案件、ODA案件、光ファイバー、電力プロジェクト、船舶、船舶用機材	
	工作機械・産業機械	工作機械、産業機械	
車両・航空	自動車関連	二輪車、四輪車、車載部品、鋳鍛造部品	兼松エアロスペース 新東亜交易
	航空宇宙	航空機、航空機部品、衛星関連	

関係会社および従業員の状況

1. 主要連結対象会社の売上高

(億円)	事業	持分比率	2012年3月期	2013年3月期	増減額
兼松エレクトロニクス	ICTソリューション	58.28%	468	451	-17
兼松コミュニケーションズ	モバイル	100%	1,076	1,212	136
兼松新東亜食品	食品・畜水産	100%	155	231	76
兼松アグリテック	飼料酪農	100%	123	125	2
兼松トレーディング	国内鉄鋼 鉄鋼原料	100%	441	384	-57
兼松ケージーケイ	工作機械 産業機械	97.90%	398	392	-7
兼松ペトロ	石油製品・ガス	100%	1,450	1,484	35
兼松ケミカル	機能性化学品	100%	196	184	-13
新東亜交易	商社	100%	1,100	984	-115
Kanematsu USA Inc.	海外現地法人	100%	877	944	67

2. 従業員の状況

(人)	2012年3月末	2013年3月末	増減
単体	795	782	-13
連結子会社	3,975	4,740	765
合計	4,770	5,522	752

※従業員は就業人員数

(当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む)

関係会社の状況

1. 連結会社の黒字・赤字会社数推移状況

(単位:社)

(社数)	2012年3月期					2013年3月期					前年同期比
	連結		持分		合計	連結		持分		合計	
	国内	海外	国内	海外		国内	海外	国内	海外		
黒字会社	28	29	13	9	79	31	36	8	10	85	6
黒字比率	76%	71%	81%	69%	74%	84%	80%	67%	77%	79%	6%
赤字会社	9	12	3	4	28	6	9	4	3	22	-6
合計	37	41	16	13	107	37	45	12	13	107	0

2. 連結会社の黒字・赤字額推移状況 (連結調整を加味しない単純合算ベース)

(単位:億円)

(億円)	2012年3月期					2013年3月期					前年同期比
	連結		持分		合計	連結		持分		合計	
	国内	海外	国内	海外		国内	海外	国内	海外		
黒字額	38	13	2	4	57	82	16	3	1	102	44
赤字額	-8	-1	-3	-1	-13	-7	-1	-1	-2	-10	3
合計	31	12	-0	3	45	75	15	2	-0	92	47



【memo】



【memo】



兼松株式会社
KANEMATSU CORPORATION